

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 12 月 13 日

【評価実施概要】

事業所番号	3873700367		
法人名	社会福祉法人 愛寿会		
事業所名	グループホーム 瀬戸あいじゅ		
所在地	西宇和郡伊方町川之浜594		(電話) 0894-53-0622
管理者	豊川 日出美		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 10 月 29 日	評価確定日	平成 19 年 12 月 17 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 10 月 7 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 6 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 11 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	8,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 10 月 7 日事業所記入)

利用者人数	17 名	男性 5 名	女性 12 名
要介護 1	6 名	要介護 2	7 名
要介護 3	4 名	要介護 4	名
要介護 5	名	要支援 2	名
年齢	平均 83 歳	最低 62 歳	最高 93 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは豊かな自然に恵まれた環境の中に建てられた高齢者総合福祉施設の1階部分にある。ホームの玄関は家族や近所の人気が軽に自由に入出りできるように、日中は鍵をかけず開放している。管理者及び職員が理念に沿って利用者の日々の暮らしを支えていることは、利用者が自分の思い通り自由にそれぞれのペースで過ごしていることからもうかがえる。共用空間は明るく季節の物がさりげなく飾られていて、居室からの宇和海の眺めはほっとする。またホームは地域行事にも参加し、地域の中に溶け込もうと努めている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

①個別の記録は見直しを行い、様式を変更し、一目でわかるよう改善している。②玄関周りは家庭的な雰囲気になるよう工夫している。③服薬管理については服薬マニュアル、チェック表を作成し実践している。④感染症対策委員会を設置し、勉強会を行っている。他、現在改善中及び検討中の項目がある。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

今回の自己評価は職員に意見を出してもらって管理者がまとめている。自己評価をすることによる気づきがあり、日々のケアを見直すきっかけとなり、サービスの質の向上に活かすようにしている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

会議には利用者及び家族、町担当者、地域住民などが参加している。議題としては、外部評価結果や利用者の状況、アンケート調査についてなど、ホーム側からの報告が多い。家族からの意見も聞いているが、出席者の活発な意見交換が行われているとはいえない。会議の議題なども考慮して、出席者が気軽に意見を言えるような会議となることを望みたい。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

重要事項説明書に苦情申立先として、ホーム側及び公的な相談窓口を明記している。苦情に対応する流れも明示している。また玄関には意見箱を設置し、家族の訪問時には意見を話してもらえよう心がけており、運営推進会議でも家族の意見を聞いている。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

施設全体の行事には、地域の住民も参加している。ホームとしては、地域行事(運動会、祭りなど)に参加している。また近くの保育園児との交流があり、ケアハウスに入居している利用者の友達も訪ねてきている。さらに地域に対して啓発を行ったり、地域の一員として役割を担ったり、地域の高齢者の相談を受けたりできるような体制づくりを望みたい。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 瀬戸あいじゅ

(ユニット名) 汐風

記入者(管理者)
氏名 豊川 日出美

評価完了日 平成 19 年 10 月 5 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域といっても入居者様にとっての地域は、それぞれに異なり、その人らしく地域でというには難しいと思われる。ホームとしては努力している。 (外部評価) 開設当初に管理者や職員で意見を出し合っつった理念であり、日々実践している。	※	地域の行事に参加するようにしている。ご近所の人には気軽に声掛けしてもらえるように努めている。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 管理者と職員で話し合っつて目標設定を行っている為職員一人一人が理解し日々取り組んでいる。 (外部評価) 理念はスタッフ室及び各ユニットにも掲示して、利用者、家族、来訪者もいつでも見られるようになっている。管理者及び職員は理念を共有しながら利用者の日々の生活を支えている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 開設より四年経過しており、家族への理念の浸透は理解して頂けているのではないかとと思われるが、地域への浸透までは至っていない。	※	地域の行事の参加を増やし地域との関わりを持ちながら理解してもらえるよう取り組みたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 施設の位置が隣近所とは少し離れている。	※	施設の外に出て保育園児等に声掛けしてもらえる環境作りを行って行きたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 施設全体での行事等で地域の人との交流がある。地域の行事にも参加している。ホーム独自でも近接している保育園と交流を行っている。	※	近隣のグループホームとの交流会を行いたいと思っている。又、婦人部の集まりにも参加したい。
			(外部評価) 施設全体の行事には、地域の住民も参加している。ホームとしては、地域行事(運動会、祭りなど)に参加している。また近くの保育園児との交流があり、ケアハウスに入っている利用者の友達も訪ねてきている。	※	地域の交流は徐々にできてきているが、さらに地域に対して啓発を行ったり、地域の一員として役割を担ったり、地域の高齢者の相談を受けたりできるような環境づくりを望みたい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域貢献には至っていない。地域の高齢者等の相談等があれば親切に対応して行きたい。	※	地域に貢献出来るようにしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員会の開催時評価について話し合っている。質の向上に努めている。又、改善に取り組んでいる。		
			(外部評価) 管理者及び職員は評価の意義を理解し、自己評価も全員で取り組んでいる。また外部評価の改善項目については、職員会で話し合い、改善に取り組み、質の向上に努めている。また運営推進会議でも報告している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価) 利用者様の生活状況を報告している。参加者の方からの 意見を受けて検討している。	※	今後質の向上に努めている。
			(外部評価) 会議には利用者及び家族、町担当者、地域住民などが参 加している。議題としては、外部評価結果や利用者の状 況、アンケート調査についてなどホーム側からの報告が 多い。家族からの意見も聞いているが、出席者との活発 な意見交換が行われているとはいえない。	※	会議の議題なども考慮して、出席者が気軽に意見 を出し合えるような会議となることを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価) ケアマネ連絡会に参加しているが、まだ市町村担当者との 行き来する機会が少ない。	※	今後市町村担当者と連携を取りながら質の向上に 努めたい。
			(外部評価) 事故報告の用紙をもらうなどの事務的な連絡は日常的で あり、ケアマネジャーの連絡会にも参加している。また 介護相談員の受け入れも行っている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度について勉強会を開いている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止について勉強会を開いている。虐待が見過ごさ れないように注意を払っている。(入浴時の観察等)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前には、重要事項等ここでの生活について説明を行っている。本人様と家族様に同意を得ている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) あまり利用者様から意見や不満を言われることが少ない。又、聞いても言われない。	※	言いたい事がたくさんあると思う。利用者様が言いたいことを言える環境や工夫を行いたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 利用者様の近況報告を送っている。緊急時にはその都度報告している。	※	汐風もホーム便りを作り送るようにしたい。金銭管理では家族様にサインして頂けるように工夫したい。
			(外部評価) 2か月に1回、利用者の日々の暮らしを書いて送っており、コピーを保存している。ホーム便りも発行している。金銭管理については家族の訪問時に確認してもらっている。また利用者の状況に変化があるときはその都度連絡している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご意向を伺ったり、意見箱の設置をしている。意見箱にはかかれませんが、口頭や文章にて意見がある。話し合いにて意見を取り入れたりしている。	※	今後は多くの家族様が何でも言って頂けるような雰囲気作りをしていきたい。また、家族会を開いていきたい。
			(外部評価) 重要事項説明書に苦情申立先として、ホーム側及び公的な相談窓口を明記している。苦情に対応する流れも明示している。また玄関には意見箱を設置し、家族の訪問時には意見を話してもらえよう心がけており、運営推進会議でも家族の意見を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月一回職員会や両ユニットのフロア会にて職員の意見を聞き意見を運営に反映させるように努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 行事や外出又、緊急時には職員の協力を得て行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員が離職した時は、現在いる職員が、利用者様が不安にならないように努めている。 (外部評価) 職員の離職時や勤務交替などがあった場合には、現在勤務している職員が利用者にとって不安を与えないよう配慮している。	※	ホーム便りに離職した職員又、入社した職員のお知らせを作るようにしていきたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 段階に応じて研修を行っている。また、外部の研修では、伝達講習を行っている。 (外部評価) 職員は運営法人内外の研修に積極的に参加しており、質の向上を図っている。また参加した職員は研修報告書を作成し、その内容を職員会などで全員に伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 運営推進委員会をとおして相互訪問等を行い情報交換をしている。 (外部評価) 運営法人内の他グループホームや近くのグループホームとの交流があり、相互に研修の機会をもって質の向上に取り組んでいる。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員間の親睦は図れているがスーパーバイザーの導入は出来ていない		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 月例の職員会で事例研修を重ね意見を述べ合い危機意識を高める。内部外部の研修会で段階にあった研修を継続し、グループ間のセクション会で、研修討議し、ケアサービスの質の向上と意識を高める。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人のおもいや、不安を受け止め、安心してもらえるよう生活状態を把握するよう努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族様が求めるものを理解して受け止める努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族の希望にて訪問散髪、訪問歯科、他のサービスを利用出来るように行っている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人様にあったサービスを利用出来るように事前に見学や面談等を行っている。 (外部評価) ホーム側から訪問したり、利用者や家族にホームに来てもらい見学してもらったり、一緒に過ごしてもらったりして馴染めるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 常に利用者様一人一人の人格を尊重し誇りやプライバシーを損なわないように注意し言葉掛けや対応を行っている。又、理念にかかげ共に支えあう関係を築くよう努めている。 (外部評価) 職員は利用者と一緒に過ごす中で、豊かな経験を聞いたり、裁縫や掃除の仕方など教えてもらうことも多く、互いに支えあう関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) たより等で本人様の状況をお知らせしたり面会に来られた際に家族様と話す機会をとり、一緒に本人様を支えていけるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族様が気軽に訪問でき、訪問時は居心地よく過ごせるような雰囲気を作っている。家族様が参加できるような行事を計画し実施している。(運動会、夏祭り、敬老会等)		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者様にとって馴染みのある方が訪問出来やすい環境につとめている。近所の方は訪問をされている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者様同士は支えあい助けあっている。食事、おやつ時に誘い合っている。心身の状態や気分、感情で変化する事もあるが入居者様同士の関係がうまくいくよう職員が介入したいと工夫している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 併設の特別養護老人ホームへ入所された方には、利用者様と一緒に遊びに行ったり、他の事業所へ入所された方には家族様が来られた時等様子を伺っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) センター方式を利用して本人様の希望を聞き入れている。又、本人様希望が聞けない場合は、利用者様の立場にたって検討している。 (外部評価) 日々の暮らしの中で、職員は本人とよく話をしたり、家族から話を聞いたり、また本人の言葉や表情、行動からも希望や思いを把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時にアセスメントを行い把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ケース記録を細目にし把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 家族様の意見、スタッフの意見を反映して介護計画を作成している。 (外部評価) 本人や家族の希望や思いを聞いたり、職員の気づきや意見を入れて話し合いを行い、一人ひとりのその時の状況に合った具体的な介護計画を作成している。	※	今後主治医の意見書を取りよせ行っていきたい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 毎月モニタリングを行い、又、三ヶ月に一度見直しの為カンファレンスを行っている。 (外部評価) 定期的な見直し及び毎月のモニタリングを行っている。状況が変われば家族と相談したりカンファレンスを開き、現状にあった介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) こまめにケース記録を行い日中、夜間の引継ぎを行って情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 併設という事もありグループホームでの介護（ターミナル）が困難になった場合に家族様との相談にて特別養護老人ホームへの移行の支援をおこなっている。 (外部評価) かかりつけ医の受診時、移送サービスを行っている。またホームに看護師は勤務していないが、必要時には同じ建物内にある特別養護老人ホームの看護師に相談できるようになっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進委員会に来て頂いたりご近所の方には行事に来て頂いている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 併設の特別養護老人ホームのケアマネや在宅支援センターのケアマネと話し合い本人にとって必要な支援をしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 在宅支援センターのケアマネや社会福祉協議会のケアマネと本人の意向や必要に応じて協働している。	※	今後対応困難なことがあれば相談していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 二週間に一回の定期回診を行い支援している。 (外部評価) 入居時にホームの協力医療機関をかかりつけ医にしているが、利用者によっては以前からかかっている医療機関の受診を支援している。2週間に1回、協力医療機関のかかりつけ医による定期回診がある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医に連絡を取り、その都度アドバイスを受けている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 特別養護老人ホームが併設の為特養の看護職員に相談したり見て頂いたりしている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 早期退院に向けて入院している病院と密に情報交換している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 現在、見取りの方針は行っていない。重度化した場合は些細な事でも家族に連絡したり、病院に連絡している。 (外部評価) 重度化や終末期についてのホームの対応方針は決まっています、状態の変化に応じてかかりつけ医と相談して特別養護老人ホームや病院への移行を行い、利用者や家族には説明を行っている。	※	重度化や終末期についてのホームの対応方針を书面化し、入居時には本人や家族に説明を行うことが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化や終末期のケアは行っていない。しかし、日々の状態をみながら、特養の看護師の協力を得て主治医との連絡を密にして老健、特養へと移行をスムーズに行っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報交換を行いこれまでの暮らしの継続性が損なわれないよう連携を心掛けている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) いかなる時も自尊心、プライバシーを損なわないように対応をし経過記録の保存も気をつけている。また、個人情報情報は、施設外で話さないように声掛けしている。 (外部評価) 職員の言葉かけや対応は穏やかで、歯磨きやトイレの誘導もさりげない。個人記録などの個人情報の取り扱いは、鍵のかかる場所に保管し、持ち出さないなど配慮している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者様の希望を聞き、自己決定出来るように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者様のペースを大切に希望に沿って支援している。 (外部評価) 利用者は食事のペースもそれぞれ違っており、食事が早く終わった人は自分の部屋に戻ったり音楽を聴いたりして、自分の思い思いの行動をしている。食事がゆっくりの人は職員が見守っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) その人らしいおしゃれを支援している。訪問理容師に来て頂いている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 併設の為献立は施設の管理栄養士が立てている。準備、片付けは出来る方に手伝って頂いている。 (外部評価) 食事の準備（下ごしらえや盛り付けなど）、後片付け（ランチョンマットの片付けやテーブル拭きなど）等、利用者のできることをしてもらっている。職員と一緒に食事しているが、利用者と同じ食事ではない。この事に関してはホームとしてまだ検討中である。	※	畑を借りて、季節の野菜を植え、利用者様と話し合い、メニューを決め、食材の買い出し準備も出来るように取組みたい。又、利用者様の状態に沿って行っていきたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人様が望む飲み物、おやつを楽しめるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) さりげなく支援している。排泄パターンを把握し出来る限りトイレでの排泄をしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人様の希望を尊重し入浴を楽しめている。 (外部評価) 入浴は時間を固定してしまわず、利用者の希望に合わせて入浴してもらっている。毎日希望する人もいれば拒否する人もいるが、声かけや対応を工夫して気持ちよく入浴してもらえるよう支援している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者様の入眠状況に合わせて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人一人が出来ている役割を考えて洗濯たたみ、食材の準備の手伝い、縫い物等して頂いている。気分転換に散歩、音楽鑑賞等を行っている。 (外部評価) 職員と一緒に食事の準備や掃除、洗濯物たたみ、縫い物など利用者にしてもらうことを行っている。また囲碁や習字、音楽を聴いたりそれぞれに楽しんでいる。ホームの行事(そうめん流し、運動会、ぶどう狩りなど)も季節ごとに楽しめるよう計画している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物と一緒にしてもらい自分のほしいものを買ってもらったり、職員が頼まれたものを買ってきたりすることもある。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気や本人様の体調等も考慮し、希望を聞きながら、短時間でも外出できるように個別の支援を工夫している。 (外部評価) 本人の希望やその日の体調に合わせて、天候なども考慮して散歩や買い物、地域行事へ参加したり、家庭菜園に行ったりと、外出の機会をつくって、個別に支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 年間行事計画を立てて実現出来るよう職員同士で話あっている。家族様にも手紙等で呼びかけをし、職員の勤務を調整するなど機会作りを行っている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者様の希望に応じてロービーの公衆電話やワーカー室の電話を利用して頂いている。また、手紙や小包等のやり取りが出来るよう支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも、気軽に訪問して頂けるように、訪問しやすい雰囲気作りを心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は行っていない。また、勉強会をひらいている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵を閉めないようにしている。しかし、利用者様によっては、扉を閉めてほしいと言う要望がある。出来るだけ扉を閉めないようにしている。扉はオートロックになっている。 (外部評価) ホームの玄関は日中は自由に出入りできるようになっていて鍵はかけられていない。家族が気軽に訪ねられるような家庭的な雰囲気づくりに配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に見守りや確認しやすい位置で記録等の作業をしたり、職員同士で声掛けしあっている。利用者様の状況把握できる様に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一律に取り去るのではなく利用者様の状態に応じて、危険を取り除けるように声掛け配慮している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故報告書やヒヤリハットを検討し、事故防止策を共有し徹底するように努めている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) (毎年) 消防の救急実技の講習を受けるようにしている。緊急時の対応について見やすいところに貼っている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 職員全員がマニュアルを把握し災害時に利用者様が避難出来る方法を身につけている。 (外部評価) 防災訓練は施設全体で定期的に行われており、マニュアルも作成し、職員も把握できている。ホーム内に避難経路も掲示し、緊急時の連絡方法も明示している。夜間は一人勤務であるが施設内で協力体制が取れるようになっている。しかし、地域の応援協力体制がまだできていない。	※	運営推進会議などで地域住民の協力を得る働きかけを行い、地域住民の参加協力を得た訓練も望みたい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) ヒヤリハットの検討をしてリスクマネジメントを話し合い家族様に説明している。事故の起こらないように日々の生活を安心して過ごせるよう支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段の状況を職員は把握している。食欲、顔色、様子などの変化が見られた時はバイタルチェックを行い、変化時の記録をつけている。状況により医療受診につなげている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬マニュアル、チェック表を作成し指示どおりの服薬が出来るように支援している。又、日常内服している薬の効果、目的、副作用が理解出来るよう処方箋、文献で把握出来るようにしている。臨時薬等が出た場合は、申し送りや連絡ノート、口頭で確かめ合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事、運動、水分量、便秘薬等で工夫している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎回声掛けて習慣付けて清潔の保持に努めている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 施設の管理栄養士に相談しながら、利用者様の摂取カロリーや栄養のバランスの管理を行っている。利用者様の摂取状態を把握して食事量や切り方など配慮している。 (外部評価) 利用者一人ひとりの食事や水分の摂取量を把握している。摂取カロリーや栄養バランスについては、施設の管理栄養士に相談しており適切に管理している。また一人ひとりに合わせて調理方法も工夫している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルに沿って勉強会を行っている。また、全体で感染症対策委員会を設置している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日冷蔵庫チェックを行い新鮮で安全な食材の使用、管理に努めている。調理場の衛生管理、調理の人の手洗いの励行に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入り口には、看板をつけ分かりやすく工夫している。玄関には、季節の花を飾ったり、写真を展示したりして親しみやすい雰囲気になるように心がけている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節が分かるような、草花を飾ったり利用者様と一緒に壁掛け（壁かざり）など、製作したり居心地よく過ごせるよう利用者様の希望を取り入れながら工夫している。 (外部評価) 共用空間は明るく、季節の物がさりげなく飾られていて家庭的な雰囲気がある。各部屋の近くにトイレがあり間違える人は今の所いない。ソファやイスなどの配置も工夫している。利用者は冬にはこたつも置かれる畳の間で囲碁を楽しんだり、それぞれ思い思いの場所で過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 利用者様の心身の状態の変化に合わせて気分転換や安全確保のため、ソファの配置やテーブルの位置等を考えている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた馴染みのものを置き利用者様が穏やかに過ごせる雰囲気作りに努めている。 (外部評価) 居室の入り口には利用者に合わせた手作りの暖簾が掛けられている。ベッドは備え付けであるが、家で使っていた整理ダンスやテレビ、仏壇、趣味の物、愛用品、写真などが持ち込まれ、個性のある居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) ホーム内は換気に気を行っており、室温についても利用者様の状態、言葉等観察しながら冷暖房等も利用して温度調節している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者様の状態に合わせて、手すりや浴室、トイレ、廊下等居住環境が適しているかどうか見直し安全確保に努めている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 不安や混乱が起こらないように状況に合わせて職員同士で話合ったり利用者様の不安を取りのぞける様に工夫している。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 中庭に花を植えたり、畑に野菜を植えて収穫したりして季節を感じ楽しまれている。また、備えつけのベンチがあり利用者様が好きなようにくつろげるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者様の思いを大切に支援出来るように努めている。家族様の声を聞いたり、利用者様の会話の中で「今日は良かった」と言う声を聞くので、利用者様の気持ちをくんでいるのではないかと思う。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1 毎日ある (自己 ② 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	長時間というわけではないが、利用者様と一緒にゲームしたりして楽しむ時間を大切にしている。また、テレビをみたり、散歩や入浴等その時その時にてゆったりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	テレビをみたい時は居室から利用者様がでてこられる。居室に戻りたい時には本人様のペースで居室に戻られている。各自に合わせた生活を送っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出や行事はとても楽しそうに参加されている。また、利用者様それぞれの得意なこと(裁縫、歌、塗り絵)などを支援する事で生き生きとした表情がみえる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望を聞き、計画を立て、出来る限り外出するようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医師が月二回、回診にきている。また、転倒時等があればすぐに受診している。安全面についてもカンファレンスしていく。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者様は、その時その時の状況に応じ、職員の声かけや見守りで安心して生活している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	1 ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	手紙で近況報告をしている。なかなか家族様の不安や困っている事を言わない方がいる。些細な事でも連絡して信頼関係を築きたい。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	デイサービスの方やケアハウスの方が来られ話をされる。また、リハビリに行くとケアハウスの方から話掛けられている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	運営推進委員会は開催しているが、地域住民の方々とのつながりについては少しずつ増えてきたと思うが、まだまだである。努めていきたい。
98	職員は、活き活きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行事等には気持ちよく一緒に楽しみながら参加している。意見についても話合っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人様や家族様に要望を聞き出来るだけ希望にそうようにしている。意見のない方もおられる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 1 ほぼ全ての家族等が 評価) ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時に常にねぎらいの言葉や感謝の言葉がある。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

伊方町の小学校の跡地に建っており、海辺に近くにある。また、近隣に保育所がある。食事は利用者様に味見してもらい味付けを行っている。利用者様も職員も伊方町の方が多い。デイサービス、ケアハウス、特別養護老人ホームと併設している為地域の方との交流が出来る。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 瀬戸あいじゅ

(ユニット名) 浜風

記入者(管理者)
氏名 豊川 日出美

評価完了日 平成 19 年 10 月 7 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域といっても利用者にとっての地域はそれぞれに異なり、その人らしく地域でと言うのは難しいと思われる。ホーム側としては努力している。 (外部評価) 開設当初に管理者や職員で意見を出し合ってつくった理念であり、日々実践している。	※	地域の行事には参加するようにしている。近所の人には気軽に声を掛けてくださるように声かけしている。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 管理者と職員で話し合い目標設定を行っている為職員一人一人が理解し日々取り組んでいる。 (外部評価) 理念はスタッフ室及び各ユニットにも掲示して、利用者、家族、来訪者もいつでも見られるようになっていく。管理者及び職員は理念を共有しながら利用者の日々の生活を支えている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 開設より四年経過しており、家族様への理念の浸透は理解して頂けているのではないかとと思われるが地域への浸透までは至っていない。	※	地域の行事の参加を増やし、地域との関わりを持ちながら理解してもらえるよう取り組みたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 施設の位置が隣近所とは少し離れている。	※	施設の外に出て保育園児等に声かけしてもらえる環境作りを行っていききたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 施設全体での行事などで地域の人との交流がある。また、地域行事にも参加している。	※	近隣のグループホームとの交流会を行いたいと思っている。また、婦人部の集まりに参加していききたい。
			(外部評価) 施設全体の行事には、地域の住民も参加している。ホームとしては、地域行事(運動会、祭りなど)に参加している。また近くの保育園児との交流があり、ケアハウスに入っている利用者の友達も訪ねてきている。	※	地域の交流は徐々にできてきているが、さらに地域に対して啓発を行ったり、地域の一員として役割を担ったり、地域の高齢者の相談を受けたりできるような環境づくりを望みたい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域貢献にはいたっていない。地域の高齢者等の相談等があれば親切に対応していききたい。	※	地域に貢献出来るようにしていききたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員会の開催時、評価について話し合っている。質の向上に努め又、改善に取り組んでいる。		
			(外部評価) 管理者及び職員は評価の意義を理解し、自己評価も全員で取り組んでいる。また外部評価の改善項目については、職員会で話し合い、改善に取り組み、質の向上に努めている。また運営推進会議でも報告している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 利用者の生活状況を報告している。参加者の方からの意見を受けて検討している。	※	今後質の向上に努めていきたい。
			(外部評価) 会議には利用者及び家族、町担当者、地域住民などが参加している。議題としては、外部評価結果や利用者の状況、アンケート調査についてなどホーム側からの報告が多い。家族からの意見も聞いているが、出席者との活発な意見交換が行われているとはいえない。	※	会議の議題なども考慮して、出席者が気軽に意見を出し合えるような会議となることを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) ケアマネ連絡会に参加しているが、まだ市町村担当者との行き来する機会が少ない。	※	今後、市町村担当者と連携をとりながら、質の向上に努めたい。
			(外部評価) 事故報告の用紙をもらうなどの事務的な連絡は日常的であり、ケアマネジャーの連絡会にも参加している。また介護相談員の受け入れも行っている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度について勉強会を開いている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止については勉強会を開いている。虐待が見過ごされないように注意している。(入浴時の観察等)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前には、重要事項等ここでの生活について説明を行っている。本人様と家族様に同意を得ている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 入居者様のご不満が出ることがある。そのことについてフロア一会で話合っている。	※	その方の不満が少しでも満足になるように努めていきたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 浜風ホーム便りを作っている。近況報告と一緒に送っている。緊急時には報告している。	※	金銭管理では家族様にサインをして頂けるよう工夫したい。
			(外部評価) 2か月に1回、利用者の日々の暮らしを書いて送っており、コピーを保存している。ホーム便りも発行している。金銭管理については家族の訪問時に確認してもらっている。また利用者の状況に変化があるときはその都度連絡している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご意見を伺ったり、意見箱の設置をしたりしている。意見箱には書かれないが口頭や意見がある。	※	今後は多くの家族様が何でも言って頂けるような雰囲気作りをしていきたい。又、家族会を開いていきたい。
			(外部評価) 重要事項説明書に苦情申立先として、ホーム側及び公的な相談窓口を明記している。苦情に対応する流れも明示している。また玄関には意見箱を設置し、家族の訪問時には意見を話してもらえよう心がけており、運営推進会議でも家族の意見を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回職員会や月1回両ユニットのフロア一會にて職員の意見を聞き意見を運営に反映させるように努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 行事や外出又、緊急時には職員の協力を得て行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員が離職した時は、現在いる職員が、入居者様が不安にならないように努めている。 (外部評価) 職員の離職時や勤務交替などがあった場合には、現在勤務している職員が利用者には不安を与えないよう配慮している。	※	ホーム便りに離職した職員や入社した職員のお知らせを作るようにしていきたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 段階に応じて研修を行っている。また、外部の研修では、伝達講習を行っている。 (外部評価) 職員は運営法人内外の研修に積極的に参加しており、質の向上を図っている。また参加した職員は研修報告書を作成し、その内容を職員会などで全員に伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 運営推進委員会をとおして相互訪問などを行い情報交換をしている。 (外部評価) 運営法人内の他グループホームや近くのグループホームとの交流があり、相互に研修の機会をもって質の向上に取り組んでいる。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員間の親睦は、はかれている。スーパーバイザーの導入は出来ていない。	※	今後、検討していく。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 月例の職員会で事例研修を重ね意見を述べあい、危機意識を高める。内部外部の研修で段階によって研修を継続し、又、グループ間のセクション会で研修討議しケアサービスの質の向上と意欲を高める。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人の思いや不安を受け止め、安心して頂けるよう生活状態を把握するように努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族様が求めるものを理解して受け止める努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族様の希望にて訪問散髪、訪問歯科等のサービス利用を行っている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人様にあったサービスを利用出来るように事前に見学や面談等を行っている。 (外部評価) ホーム側から訪問したり、利用者や家族にホームに来てもらい見学してもらったり、一緒に過ごしてもらったりして馴染めるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 常に利用者一人一人の人格を尊重し誇りやプライバシーが損なわれないような言葉がけや対応を行っている。又、理念に掲げ共に支えあう関係を築くよう努力している。 (外部評価) 職員は利用者と一緒に過ごす中で、豊かな経験を聞いたり、裁縫や掃除の仕方など教えてもらうことも多く、互いに支えあう関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) たより等で本人様の状況をお知らせしたり面会に来られた際に家族様と話し合う機会をとり、一緒に本人様を支えていけるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族様が気軽に訪問でき、訪問時は居心地よく過ごせるような雰囲気を作っている。又、家族様が、参加できるような行事を計画し実施している。(夏祭り、運動会、敬老会など)		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 気軽に訪問できやすい雰囲気にし訪問時は居心地よく過ごせるような雰囲気を作っている。また、地域の行事、運動会や文化祭の参加を行い交流を持っている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士は支えあい助け合っている。食事、おやつ時に誘い合っている。心身の状態や気分、感情で変化することもあるが利用者同士の関係がうまくいくように職員が介入したりと工夫している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 併設の特別養護老人ホームへ入所された方には、利用者様と一緒に遊びに行ったり、他の事業者に行かれた方は家族様が来られた時等様子をお聞きしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) センター方式を利用し本人様の希望を聞き入れ検討している。本人様が聞けない場合には本人様の立場に立って検討している。 (外部評価) 日々の暮らしの中で、職員は本人とよく話をしたり、家族から話を聞いたり、また本人の言葉や表情、行動からも希望や思いを把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時にアセスメントを行い把握している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ケース記録を細目にし把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 家族様の意見や職員の意見を反映して介護計画を作成している。 (外部評価) 本人や家族の希望や思いを聞いたり、職員の気づきや意見を入れて話し合いを行い、一人ひとりのその時の状況に合った具体的な介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 毎月モニタリングしている。3ヶ月に1度見直しの為カンファレンスを行っている。 (外部評価) 定期的な見直し及び毎月のモニタリングを行っている。状況が変われば家族と相談したりカンファレンスを開き、現状にあった介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 細目にケース記録を行い、日中、夜間の引継ぎを行い情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 併設ということもあり、グループホームでの生活困難(ターミナル)になった場合には家族様の相談にて特別養護老人ホームへの移行の支援を行っている。 (外部評価) かかりつけ医の受診時、移送サービスを行っている。またホームに看護師は勤務していないが、必要時には同じ建物内にある特別養護老人ホームの看護師に相談できるようになっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進委員会に来て頂いたり、御近所の方には行事に来て頂いたりしている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 併設の特別養護老人ホームのケアマネや在宅支援センターのケアマネと話し合い本人にとって必要な支援をしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 在宅支援センターのケアマネや社会福祉協議会のケアマネと本人の意向や必要に応じ協働している。	※	今後対応困難な事があれば相談していく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 2週に1回の定期回診を行い支援している。 (外部評価) 入居時にホームの協力医療機関をかかりつけ医にしているが、利用者によっては以前からかかっている医療機関の受診を支援している。2週間に1回、協力医療機関のかかりつけ医による定期回診がある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医に連絡をとり、その都度アドバイスを受けている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 特別養護老人ホーム併設の為特養の看護職員に相談したり、見て頂いている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 早期退院に向けて入院している病院と密に情報交換している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 現在看取りはしていない。重度化した場合は些細な事でも家族様に連絡している。 (外部評価) 重度化や終末期についてのホームの対応方針は決まっています、状態の変化に応じてかかりつけ医と相談して特別養護老人ホームや病院への移行を行い、利用者や家族には説明を行っている。	※	重度化や終末期についてのホームの対応方針を书面化し、入居時には本人や家族に説明を行うことが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化や終末期のケアは行っていない。しかし、日々の状態をみながら、特養の看護師の協力を得て主治医との連絡を密にして老健、特養へと移行をスムーズに行っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報交換を行い、これまでの暮らしの継続性が損なわれないように連携を心がけている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) いかなる時も自尊心、プライバシーを損なわない対応をし経過記録の保存も気をつけている。又、個人情報は施設外で話さないよう声かけしている。 (外部評価) 職員の言葉かけや対応は穏やかで、歯磨きやトイレの誘導もさりげない。個人記録などの個人情報の取り扱いは、鍵のかかる場所に保管し、持ち出さないなど配慮している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望を聞き自己決定できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者のペースを大切に希望に沿って支援している。 (外部評価) 利用者は食事のペースもそれぞれ違っており、食事が早く終わった人は自分の部屋に戻ったり音楽を聴いたりして、自分の思い思いの行動をしている。食事がゆっくりの人は職員が見守っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) その人らしいおしゃれを支援している。訪問理容師に来て頂いている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 併設のため献立は管理栄養士が立てている。準備や片付けは出来る方に手伝って頂いている。 (外部評価) 食事の準備（下ごしらえや盛り付けなど）、後片付け（ランチョンマットの片付けやテーブル拭きなど）等、利用者のできることをしてもらっている。職員と一緒に食事しているが、利用者と同じ食事ではない。この事に関してはホームとしてまだ検討中である。	※	畑を借りて、季節の野菜を植え、利用者様と話し合い、メニューを決め、食材の買い出し準備も出来るように取り組みたい。また、入居者様の状態に沿っていきたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人様が望む飲み物やおやつを楽しめるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) さりげなく支援している。排泄パターンを把握し出来る限りトイレでの排泄をしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人希望を尊重し、入浴を楽しめるようにしている。 (外部評価) 入浴は時間を固定してしまわず、利用者の希望に合わせて入浴してもらっている。毎日希望する人もいれば拒否する人もいるが、声かけや対応を工夫して気持ちよく入浴してもらえるよう支援している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者の方の入眠状態に合わせて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人一人が出来る役割を考えて、洗濯たたみ、食材の下ごしらえ、縫い物などして頂いている。又、気分転換に散歩に行ったり、音楽鑑賞などを行っている。 (外部評価) 職員と一緒に食事の準備や掃除、洗濯物たたみ、縫い物など利用者にしてもらえることをしてもらっている。また囲碁や習字、音楽を聴いたりそれぞれに楽しんでいる。ホームの行事(そうめん流し、運動会、ぶどう狩りなど)も季節ごとに楽しめるよう計画している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物と一緒にしてもらい自分の欲しいものを買ってもらっている。職員が頼まれたものを買ってきたりすることもある。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気や本人の体調等も考慮し、希望を聞きながら、短時間でも外出出来る様に個別の支援を工夫している。 (外部評価) 本人の希望やその日の体調に合わせて、天候なども考慮して散歩や買い物、地域行事へ参加したり、家庭菜園に行ったりと、外出の機会をつくって、個別に支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 年間行事計画を立てて、実現できるよう職員同士で話し合い、家族へも手紙などで呼びかけている。職員の勤務を調整する等機会作りを行っている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望に応じて、ロビーの公衆電話やワーカー室の電話を利用して頂いている。又、手紙や小包などのやり取りが出来るように支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも気軽に訪問して頂けるよう来やすい雰囲気作りを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は行っていない。また、勉強会を行っている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵を閉めないようにしている。利用者様によっては、扉を閉めてほしいと言う訴えがある。出来るだけ扉を開けている。扉はオートロックになっている。 (外部評価) ホームの玄関は日中は自由に出入りできるようになっていて鍵はかけられていない。家族が気軽に訪ねられるような家庭的な雰囲気づくりに配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に見守り確認しやすい位置で記録などの作業をしたり、職員同士で声掛けあっている。又、状況把握出来る様に努めている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一律に取り去るのではなく利用者の状況に応じながら、危険を取り除けるように声掛け配慮している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故報告書やヒヤリハットを検討し事故防止を共有、徹底するように努めている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) (毎年) 消防の救急実技の講習を受けている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 職員全員がマニュアルを把握し災害時に利用者が非難できる方法を身につけている。 (外部評価) 防災訓練は施設全体で定期的に行われており、マニュアルも作成し、職員も把握できている。ホーム内に避難経路も掲示し、緊急時の連絡方法も明示している。夜間は一人勤務であるが施設内で協力体制が取れるようになっている。しかし、地域の応援協力体制がまだできていない。	※	運営推進会議などで地域住民の協力を得る働きかけを行い、地域住民の参加協力を得た訓練も望みたい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) ヒヤリハットの検討をしてリスクマネジメントを話し合い家族様にも説明し事故の起こらないように日々の生活を安心して過ごせるように支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段の状況を職員は把握している。食欲、顔色、様子等の変化が見られた時はバイタルチェックを行い、変化時の記録をつけている。状況に応じて医療受診につなげている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬マニュアルやチェック表を作成し指示どおりの服薬が出来るように支援している。又、服薬している薬の効果や目的、副作用が理解出来るよう処方箋、文献で把握出来るようにしている。臨時薬が出た場合は申し送りや連絡ノート、口頭で確かめあっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事、運動、水分量、便秘薬等で工夫している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎回声掛け合い習慣づけて清潔保持に努めている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 施設の管理栄養士に相談しながら、利用者の摂取カロリーや栄養のバランスの管理に努めている。利用者の摂取状態の把握して食事量や切り方等配慮している。 (外部評価) 利用者一人ひとりの食事や水分の摂取量を把握している。摂取カロリーや栄養バランスについては、施設の管理栄養士に相談しており適切に管理している。また一人ひとりに合わせて調理方法も工夫している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルに沿って勉強会を行っている。又、感染症対策委員会を設置している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎回冷蔵庫チェックを行い新鮮で安全な食材の使用、管理に努めている。調理場の衛生管理、調理人の手洗いの励行に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入り口には、看板をつけ、分かりやすく工夫している。玄関には、季節の花を飾ったり、写真を掲示したりして親しみやすい雰囲気になるように心がけている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節が分かるような草花を飾ったり、利用者と一緒に壁掛け（壁飾り）等製作したり、居心地よく過ごせるように利用者の希望を取り入れている。 (外部評価) 共用空間は明るく、季節の物がさりげなく飾られていて家庭的な雰囲気がある。各部屋の近くにトイレがあり間違える人は今の所いない。ソファやイスなどの配置も工夫している。利用者は冬にはこたつも置かれる畳の間で囲碁を楽しんだり、それぞれ思い思いの場所で過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 利用者の心身の状態の変化に合わせて気分転換や安全確保のため、ソファの配置やテーブルの配置など配慮している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた馴染みの物を置き利用者が穏やかに過ごせるように努めている。 (外部評価) 居室の入り口には利用者に合わせた手作りの暖簾が掛けられている。ベッドは備え付けであるが、家で使っていた整理ダンスやテレビ、仏壇、趣味の物、愛用品、写真などが持ち込まれ、個性のある居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) ホーム内は適宜換気を行っており、室温についても利用者の状態、言葉等観察しながら冷暖房なども利用して温度調節している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者の状態に合わせて手すりや浴室、トイレ、廊下など居住環境が適しているかどうか見直し安全確保に配慮している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 不安や混乱が起こらない様に状況にあわせて職員同士で話あっている。又、利用者の不安を取り除けるように工夫している。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 中庭に花を植えたり、畑に野菜を植えて収穫したりして、季節を感じ楽しまれている。又、備え付けのベンチがあり、利用者が好きなようにくつろげるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者様の思いを大切に支援出来る様につとめている。家族様の声を聞いたり利用者様の会話の中で「今日は良かった」と言う声を聞くので利用者様の気持ちをくんでいるのではないかと思います。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己評価) 1 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	長時間と言う訳ではないが、利用者様と一緒にゲームをしたりして楽しむ時間を大切にしている。又、テレビを見たり、散歩や入浴等その時その時にてゆったりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	テレビが見たいときには、居室から本人様が出てこられている。各自に合わせた生活を送っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出や行事はとても楽しそうに参加されている。又、利用者様の得意なこと(裁縫、歌、ピアノ)等を支援する事で生き生きとした表情が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望を聞き、計画を立てて、出来る限り外出するようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医師が月2回、回診に来ている。又、転倒等があれば早急に受診している。転倒に対してカンファレンスを行っている。安全面に対しても行っていききたい。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者様には、その時その時の状況に応じて、職員の声かけや見守りで安心して暮らせるように努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	手紙で近況報告やホーム便りを送っている。家族様のなかには不安な事など言われない方がいる。今後、まめに連絡していきたい。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己評価) 1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	デイサービスの方やケアハウスの方が来られ話をされている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	運営推進委員会は開催しているが、あまり増えていない。今後努力したい。
98	職員は、活き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行事等には気持ちよく一緒に楽しみながら参加している。意見についても話あっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人様や家族様に要望を聞き出来るだけ希望に沿うようにしている。意見のない方もおられる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時にねぎらいの言葉がある。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

伊方町の小学校の跡に建っており近くに保育園がある。又、海も近い。食事は本人様に味見してもらい味付けを行っている。利用者も職員も伊方町の方が多い。デイサービス、ケアハウス、特別養護老人ホームと併設している為顔見知りのかたが多い。